

令和元年 11 月 22 日

## 光・テラヘルツ・X線・ナノ材料の世界会議「Opto-X-Nano2019」開催

12月2~5日、光・テラヘルツ<sup>\*1</sup>・X線・ナノ材料の研究者・技術者が一堂に会し最新の研究成果を発表する世界会議「Opto-X-Nano2019」（主催：OptoX-Nano2019大会実行委員会、共催：岡山大学など）を岡山コンベンションセンターで開催します。近年注目が集まる計算科学データ科学分野の研究者とも連携し、より新しい研究領域を開拓、革新的ナノマテリアル計測分野の国際研究交流・若手育成・産業応用を目的に議論します。また、Jean-Charles Guibert（ジャン・シャルル ギベール）MINATEC<sup>\*2</sup>所長をはじめ、主に欧州で活躍する研究者を招聘し、欧州と日本の科学技術交流を促進します。

本学では、3月にテラヘルツ波ケミカル顕微鏡を用いて、1ml中に含まれるわずか10個の乳がん細胞を高感度に検出することに成功するなど、テラヘルツの分野で画期的な成果を出しています。その実績も踏まえ、岡山での世界会議の招致、運営を行っております。

開催：2019年12月2日（月）~5日（木）

場所：岡山コンベンションセンター（岡山市北区北区駅元町14-1）

主催：OptoX-Nano2019大会実行委員会

共催：岡山大学、UCC-Tyndall National Institute（アイルランド）、理化学研究所

参加予定：欧州を中心に12カ国の約100人（海外 約30人）

会議HP: <https://opto-x-nano.com/>

### \*1 テラヘルツ

電波と光の中間の周波数を持ち、1秒間に1兆回振動する（周波数が1兆ヘルツ程度）の電磁波で、高い透過性をもつことから、物質を破壊せずに性質を調べるのに適している。

### \*2 MINATEC

MINATECは、研究・教育・産業界のネットワークの形成と研究の産業界への技術移転を目的に設立した、パリ首都圏に次ぐフランス最大の公的研究拠点。約3,000人の研究者、約1,200人の学生、約600人の技術移転の専門家を集めるマイクロエレクトロニクスとナノテクノロジーの応用研究に特化した欧州屈指のセンター。

<お問い合わせ>

大学院自然科学研究科 教授 鶴田 健二

（電話）086-251-8142